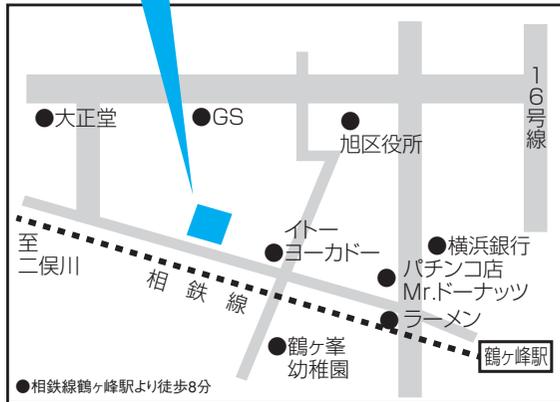


ぱれっと旭 1階 旭区社協事務所



社会福祉法人 横浜市旭区社会福祉協議会
旭区ボランティアセンター

横浜市旭区鶴ヶ峰1-6-35 ぱれっと旭内

TEL:045-392-1133

FAX:045-392-0222

URL:<http://www.palletasahi.jp>

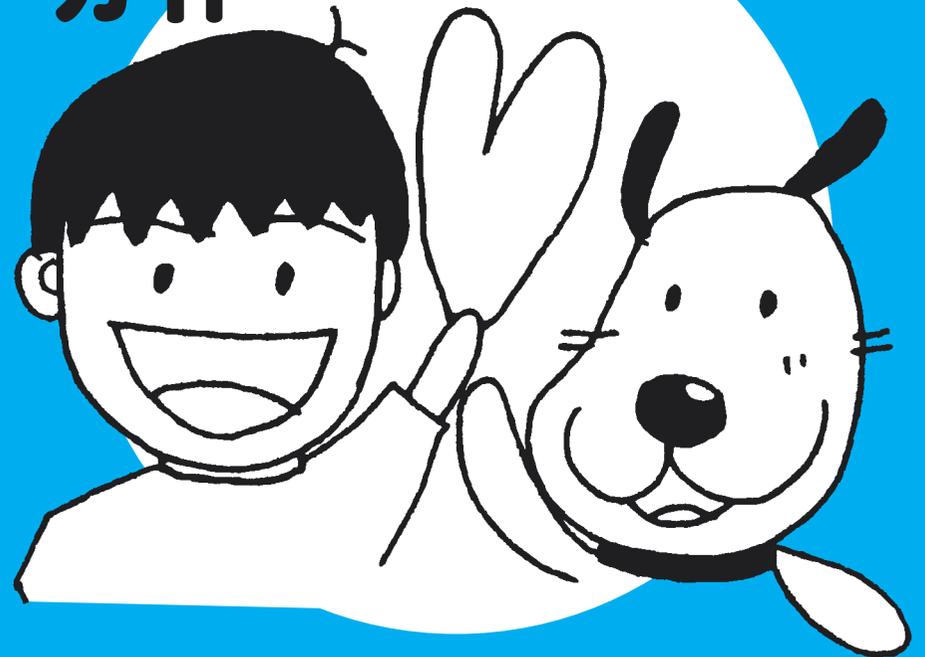
E-mail:asahi-ks@ceres.ocn.ne.jp

■ 業務時間 ■

月～土 8:45～17:15

* 祝祭日及び年末年始(12/29～1/3)は除く
旭区福祉保健活動拠点「ぱれっと旭」は日曜日も含め、
9:00～21:00まで開館しています。

旭区 ボランティアセンター ガイド



社会福祉法人
横浜市旭区社会福祉協議会



あさひ丸

「ボランティア」と聞いて、
どんなことを思い出しますか？

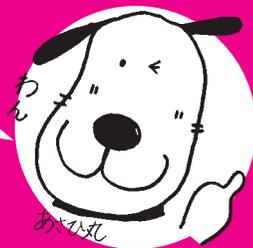
例えば・・・

「困った人のためにタダでなんでもしてあげること？」

「地震や火山噴火などの被災地に行って活動すること？」

「アフリカなどの難民キャンプに行って活動すること？」

こんな活動だったら、
「簡単にはできない」
って思うよね。



あさひ丸

でも、周りを見てみて！ 自分たちの住んでいるところには、
いろんな人が生活しているよね。

ボランティア活動とは高齢者も障害がある人も子ども
達もみんな一緒に地域で元気に、楽しく、幸せに暮らして
いくために、自分たちがそれぞれできることで、「いつで
も、どこでも、誰でもできる活動」なんです！

「ボランティア」の性格



1 自主性・主体性

ボランティア活動は自分の考えで積極的に活動するもので
す。仕事のように「～しなければいけない」と義務で行うもの
ではありません。



2 社会性・公共性

活動にあたっては相手の立場を尊重し、お互いに活かし
合う必要があります。たとえどんな善意に基づく活動であっ
ても、社会的公正や正義に結びつかないものは「ひとりよが
りの活動」になってしまいます。



3 無償性

ボランティアは活動への見返りとしてお金は求めません。
ただ、現在ではボランティアの負担を少しでも減らしたいと
いう考えから、実費相当分（交通代や食事代等）が依頼者側
から払われることもあります。

無償であろうと、実費が払われようと、誠意を持って活動
することがボランティアの基本です。

ボランティア についての相談

- ボランティア活動をしてみたい時の相談紹介
- ボランティアを必要とする時の相談紹介
- ボランティア活動上の相談
- ボランティアについての相談

学校や企業などの
ボランティア相談もO.K.です

ボランティア あれこれ

- 施設でのお手伝い



- 特技を活かしての活動

- 障害のある
子ども達のサポート



ボランティア講座

- ボランティアを始める人の講座
- さらに活動を充実させる講座



各種 ボランティア保険

- ボランティア活動保険
- ボランティア行事保険
- 福祉サービス総合補償
- 送迎サービス補償制度



受け付け手続き、
事故が起きた時の
申請手続きをします。

ボランティアセンターってどんなところ？

情報の収集・発信

- センター内掲示板
チラシコーナー
- 情報誌
- ホームページ
<http://www.palletasahi.jp>
- 窓口へ!



福祉教育の啓発

- プログラム・企画の相談
- 講師紹介・調整



福祉機材の貸出

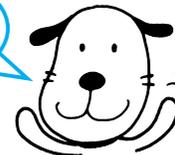
- 車イス
- アイマスク
- 白杖
- 高齢者疑似体験
- 点字器
- 布おもちゃ



善意銀行

地域福祉活動の更なる発展
のために、
活動資金の寄付を!

ぜひ
おねがいします。



ネットワーク作り

ボランティア活動を行う個人、
グループ同士のつながりを
深める支援をします





ボランティア活動の留意事項

1

無理をしない



誰でもはじめは「やってみたい!」という気持ちが強いですよね。けれど最初から「あれもこれも」では途中でくたびれてしまいます。負担を感じないよう生活の中でできること、身の回りのできることから始めましょう。

4

問題を感じたらまず相談



活動中にちょっとした行き違い、相手の約束違反、人間関係の難しさなど問題が出てくる場合があります。1人で悩まず、仲間や各種窓口にご相談することによって解決できる問題もたくさんあります。旭区ボランティアセンターではボランティア活動全般にわたる相談、調整を行っています。どんなことでもお気軽にご相談ください。

2

約束・秘密は堅く守る



人との信頼関係をつくることは活動する上で大切なことの一つです。そのためには約束を守り、活動中に知りえた個人のプライバシーは他言しないようにしましょう。都合により予定していた活動ができない場合はあらかじめ了解をとりましょう。

5

相手のニーズを受け止める



相手のある活動を行う場合は、まず相手が何を求めているか、期待しているかを把握することが大切です。自分の希望を優先させてしまっては、「善意の押し付け」になってしまいます。また、相手のニーズは時間とともに変わっていくことも知っておくと良いでしょう。

3

できること・できないこと



相手のできることまでサポートする必要はありません。できない部分をできるようにサポートすればよいのです。できる部分を大切にしましょう。また、できないことを安請け合いないように!

6

活動に宗教や政治を持ち込まない



誰にでも思想信条の自由が保障されていますが、ボランティア活動の場で布教活動、政治活動を行ってはなりません。